

【 臨床研究に関する情報の公開 】

腎盂・尿管癌で当院を受診された患者さまの試料・情報を用いた医学系研究に対する
ご協力のお願いについて

項 目	内 容
1. 研究課題名	腎盂・尿管癌の診断におけるMRIの有用性についての検討
2. 研究の対象者	2020年1月1日から 2025年9月30日の間に、当院の泌尿器科において腎盂・尿管癌が疑われMRI検査を受けられた方
3. 研究期間	承認後 ～ 2026年9月30日
4. 研究実施体制と研究責任者	研究実施場所：関西電力病院 泌尿器科 研究責任者：泌尿器科 鶴田将史 共同研究者：関西電力病院 泌尿器科 秋葉大地、矢野博久、坂元宏匡、青山輝義 共同研究機関：なし 資料・情報提供機関：なし
5. 本研究の意義・目的	腎盂・尿管癌の診断において、MRIの有用性についての報告は少ない。今回、腎盂・尿管癌の診断におけるMRIの有用性について検討を行い、今後の治療戦略改善に役立てるための基礎資料とします。
6. 研究の方法	電子カルテ上で、腎盂・尿管癌が疑われMRI検査を受けられた方の転帰と、それに影響を与えると考えられた因子との関係を検討します。
7. 研究に用いる試料・情報の種類	電子カルテより、年齢、検査値（血液生化学検査）、画像検査結果、病理検査結果、イベント（治療介入の有無やそれまでの期間）を収集し、用います。
8. 試料・情報の保管方法と廃棄方法	情報管理責任者が研究用パソコン内にデータとして保管し、施錠可能なデスクにおいて保管管理します。廃棄については、研究発表後5年間保管し、データ廃棄の際は、複数名で完全にデータを消去したことを確認します。
9. 個人情報の保護について	情報収集には、診療IDや患者識別コード等を用いることで匿名化されています。情報が個人を特定する形で公表されたり、第三者へ知られたりすることはありません。 本研究は、既存の診療情報を用いて行う後ろ向き研究であり、研究対象者から文書または口頭による同意を得ることが困難なため、オプトアウト方式にて実施します。研究への参加を希望されない場合は、11. 問い合わせ・苦情等の窓口へお申し出ください。お申し出いただいても、診療等に不利益が生じることはありません。
10. 情報管理責任者	関西電力病院 泌尿器科 鶴田将史
11. 問い合わせ・苦情等の窓口	〒553-0003 大阪市福島区福島2丁目1番7号 関西電力病院 泌尿器科 鶴田将史 電話：06-6458-5821（代表）